

## 日本発ドイツ便り:ニュルンベルクの城壁

「何か面白いものはないかな？」と、久々にニュルンベルクの街をぶらぶら散歩。  
この通りは以前にも紹介しましたが、木組みの家がたくさんある通りです。ひとつひとつ木の組み方が違ったり、おもしろい屋根や窓の形があったり、観察していても飽きません。一回中に入りたいなあ…。と思いつつ。でも外観は歴史的景観を保ちつつ、中は快適に改装してそうですね。  
古くからあって、ちゃんと手入れされている、というのが理想とされる住居ですから、日本の感覚とはかなり価値観が違いますね～。建物を作るときの考え方から異なるのは言うまでもないでしょう。



建物の話ではなく、今回は城壁の話です。ニュルンベルクは旧市街をぐるっと城壁が取り巻く街です。(そして山の上にお城があります。)城壁跡の一部が残っているという街も多いですが、このニュルンベルクは、今でも四方を城壁に囲まれています。

この木組みの家を見ながら街の中心→外側に歩いていると、城壁に到着。  
なんとなく階段があったので、「眺めいいかな？」とのぼってみると…。



なんと、ちょっとした散歩道のようになっていました。ベンチもあるし、ビーチにあるみたいな椅子もあって、寝ころんで日光浴しながら本を読んでいる人(ああ、典型的夏のドイツの風景!)もいました。ちょっと坂になりつつ、どんだんのぼって行きます。



「もしかして！！お城までつながってる？」とすごく期待したのですが、一旦行き止まり。引き返さなきゃならないかと思っていたら、怪しい階段を発見。



降りた後を振り返ると、別に怪しい階段ではなかったです。疑って悪かった…。ごめん。☺



降りたらこんな立派な門と見張りの塔がありました。塔には上れないのかな？と思っているとこんな看板が…。



Bürgermeistergarten(ビュルガーマイスター・ガルテン:市長の庭園)と書いてあります。この市長さんが園芸が趣味らしいです…。というのは冗談で、おそらく歴史のあるものだと思います。春～秋限定で公開(?)されているようなので、迷わず行ってみました。ちなみに、たいていどこにでも付いていけるドイツの犬さんたちも、この庭園には立ち入り禁止とのこと。



こんな階段を上って、再度城壁の上へ。



城壁の外はこんな風に堀になっています。その外側は車道です。結構深いですね～。先ほどの城壁と同じく、散歩道が続きます。そろそろ「どこが市長の庭園？」と思い始めたころ、到着しました。



綺麗に手入れされたお庭がありました。かなり上まで上ってきているので、眺めもいいですよ。



こんな展望台(?)のようなところもありました。ここに来てわかったのですが、いつもデューラーの家のあたりから上を見上げて、「あの通路はどこからつながっているんだろ？」と思っていたのがここでした！



右の建物がデューラーハウス。やっとこの場に立てて、この風景を見れて嬉しかったです。  
木組みの家も上から見るとまた印象が違います。屋根の形もおもしろいなあ。



さらに上って行きます。大きな木もたくさんあって、緑がたくさんでいい気分ですよ。



カイザーブルク城が見えてきました!



お城から見た、ニュルンベルクの街。建物の高さ、屋根や壁の色の調和がとれていて、いつ見てもとってもきれいです。夕暮れも夜景もきれいですよ～。



この日は雲がとっても印象的な日でした。夏の空ですね。

街の中で、ちょっと森の中の散歩気分を味わえる城壁の散歩+市長さんの庭園を表敬訪問(?)

春から秋のニュルンベルクの楽しみが一つ増えました。

もしこの時期にニュルンベルクに行くことがあれば、是非行ってくださいね。